



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

4月号 (No.1)

令和6年

4月8日(月)

令和6年度スタート

(3月25日修了式:校長の話を抜粋)

生徒の皆さんの中で「自分は成長してるのかな。」と不安に思う人はいますか。私は皆さんを間近で見えてきて「全員が成長している。」と断言できます。成長の速さやその中身はそれぞれ異なりますし、他人と比べるものではありませんが、生徒の皆さんは、この一年で確かに大きく成長しました。

皆さんも自分自身を振り返ってみましょう。例えばこんなことはありませんか。「友達と話している時、自分が言いたいことを少し待って、友達の言うことに耳を傾けるようになった。」であるとか「先生が話した内容だけではなく、先生が言おうとしている意図を理解できるようになった。」などです。これから先、自分の姿を外から客観的に見ることができれば、さらに成長できると思います。(中略)

勉強より大切なものはたくさんあります。例えば、人の気持ちを理解すること。それができる人は、後輩から慕われ、先輩からもかわいがられ、人から信頼されます。そうすれば、あなたを助けてくれる人がたくさん現れます。逆に人を踏み台にして自分の事だけ考えている人は、この先必ず転びます。皆さんには、目の前のゴミを拾う、困っている友達を助ける、家の手伝いをする、など善い行いをしたり、誰かの為になることをしたりして欲しい。そうすれば、巡り巡ってあなたを幸せにしてくれます。(以降省略)

新しい年度が始まりました。明日は、新入生が入学して来ます。とても楽しみです。佐伯中の一員となる後輩を温かく迎えましょう。そして、佐伯中生徒全員で一歩ずつ成長していきましょう。



委員会活動



友和市民センターまつり



表彰(技術作品)

プロの演奏家

3月22日に廿日市市教育委員会主催による芸術鑑賞会が行われました。プロとして全国で活躍しておられるホルン奏者の福川伸陽氏、ヴァイオリン奏者の長原幸太氏、ピアノ奏者の津田裕也氏をお迎えし、すぐ目の前で演奏していただきました。途中それぞれの楽器の紹介とそれにまつわるお話やクイズなどを織り交ぜながら、ソロで演奏していただき、最後は、ブラームスの「ホルン三重奏曲」で締めく



くっていただきました。プロの演奏をこんな間近で聴く機会はなかなかないと思います。とても貴重で素敵な時間でした。ある生徒は、「楽器と楽器の音の粒がそろっていて、すごいなと思いました。同じメロディの繰り返し部分でも、1回目と2回目では曲の表情が変わっていて感動しました。」と感想を述べていました。

くっていただきました。プロの演奏をこんな間近で聴く機会はなかなかないと思います。とても貴重で素敵な時間でした。ある生徒は、「楽器と楽器の音の粒がそろっていて、すごいなと思いました。同じメロディの繰り返し部分でも、1回目と2回目では曲の表情が変わっていて感動しました。」と感想を述べていました。

保護者の皆様へ

昨年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。3月をもって退任及び離任した教職員が大変お世話になりました。直接お礼を申しあげることができませんでしたが、保護者の皆様には感謝申し上げます。4月から、それぞれの環境で活躍しておりますのでご安心ください。またどこかでお会いすることがあるかもしれませんので、その際はよろしく願い致します。

4月からは、新しい教職員で本校の教育活動を進めて参ります。PTA 活動を通じて、挨拶運動やPTA 新聞、各行事でのお手伝いなど、今後とも佐伯中学校を支えていただきますようご協力をお願いします。



佐伯高校生徒による「総合的な探究」の発表会(旧1年生)



友和市民センターでのボランティア表彰(美術部)



退任式及び離任式での生徒代表挨拶

